

令和5年度 芸術科 「書道Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	書道Ⅱ（東京書籍）	副教材等	

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	篆書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の成立 基本用筆 臨書 <ul style="list-style-type: none"> 甲骨文 金文 石鼓文 泰山刻石 	<ul style="list-style-type: none"> 書体の変遷を理解する。 篆書の基本的な筆使いを理解する。 各古典の特徴を捉え、理解し表現する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	5	隸書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 隸書の成立 基本用筆 臨書 <ul style="list-style-type: none"> 乙瑛碑 曹全碑 石門頌 	<ul style="list-style-type: none"> 書体の変遷を理解する。 隸書の基本的な筆使いを理解する。 各古典の特徴を捉え、理解し表現する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	6		第1回考査		
	7	創作	楷書・行書・隸書・篆書のいずれかで創作を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 創作の方法を理解し、体裁よく制作する。 	学習活動への参加状況や態度 学習成果（作品）
	8				
	9		第2回考査		
		篆刻の学習		<ul style="list-style-type: none"> 篆刻が書の一分野であることを理解する。 書における印の効果について理解する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	草書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立 ・基本用筆 ・臨書 十七帖 書譜 	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の変遷を理解する。 ・草書の基本的な筆使いを理解する ・各古典の特徴を捉え、理解する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	11	創作	<ul style="list-style-type: none"> ・五書体のいずれかで創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の方法を理解し、自分の好きな漢字を表現する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	12		第3回考査		
		創作	<ul style="list-style-type: none"> ・五書体のいずれかで創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の方法を深化し、日本の伝統文化である書初めを行う。 ・五書体のうち任意で選択して製作する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	1	仮名の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・臨書 三色紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・古筆の臨書学習により、1学年で学んだ仮名の技法をより深化する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	2	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和 ・紙面構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の好きな詩句により作品を制作する。 	学習活動への参加状況や態度 ワークシート 学習成果（作品）
	3		第4回考査		

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度に基づき、総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

授業に集中し、作品制作を行いましょう。授業の際は早めに来て準備をすると、制作の時間が伸びます。また、欠席の際には必ず後日作品を提出しましょう。（提出がないと評価できません。）
